

環境経営レポート



発行年月日：2021年07月02日

対象期間：2020年04月01日～2021年03月31日

循環型社会推進企業



RECYCLE

<https://www.akai.co.jp>

今ここにある世界を そしてこれからの未来を支えていきたい

 赤井工業株式会社

AKAI Industry Co., Ltd.

ご挨拶

---ふたつのHeartで明日を創ります---

第1のHeart

地球資源の枯渇にともない叫ばれてきた「循環型社会の構築」。当社もまたリサイクルの一翼を担う企業として、産業廃棄物の「適正処理」及び「再生利用」を行うことで、環境負荷の少ない社会への実現に貢献できるよう事業活動を行っています。

第2のHeart

橋梁、鉄道、道路、ビルディング、河川の護岸などの構築物のすべてに数多くの砕石が使われ、私たちの暮らしを支えています。しかし、砕石にもいろいろな種類があり、TPOに応じた適材適所の資材供給をすることが必要です。

私たち赤井工業はこれまでに培ってきた多くの経験と実績から、安全で快適な砕石事業と、循環型社会形成のための真摯な活動を実践しており、より一層計画的に継続していくために平成25年からエコアクション21に取り組んでおります。

このレポートはその結果を取りまとめたものです。

皆様方にご高覧をいただければ幸いです。

2021 年 7 月 2 日

赤井工業株式会社

代表取締役 宮本 清富



目 次

01. 組織の概要 -----	1
02. 認証登録の対象組織・活動 -----	3
03. 環境経営方針 -----	4
04. 環境経営目標 -----	5
05. 環境経営計画 -----	6
06. 環境経営目標の実績 -----	7
07. 環境経営計画の取組結果とその評価	
次年度の取組内容 -----	8
08. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価	
の結果並びに違反、訴訟等の有無 -----	9
09. 代表者による全体評価と見直し・指示 -----	10
10. 環境経営状況（教育及び外部コミュニケーション） ----	11

1 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者氏名

赤井工業 株式会社
代表取締役 宮本 清富

(2) 所在地及び電話番号

①本社 和歌山県岩出市畑毛226番地 ②RCセンター 和歌山県紀の川市神通200-2
③神通砕石工場 和歌山県紀の川市神通200-2 ④建設発生土処分場 和歌山県紀の川市中畑神子平500番

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 赤井 靖
担 当 者 田村 友彦 電話：0736-62-5800 FAX：0736-62-5801

(4) 事業の概要

産業廃棄物収集運搬・中間処理（破碎・天日乾燥・造粒固化）
砕石・砕砂・再生骨材・改良土の製造販売、土木工事・建設発生土中間処理・最終処分

(5) 法人設立年月日

昭和44年8月27日

(6) 事業規模

資本金 1,000 万円
売上高 1,299 百万円（2020年度）
産業廃棄物取扱量 (中間処理量201,337 t 収集運搬量144,336 t) 集計期間 4月～3月
建設発生土取扱量 (中間処理量144,783m³ 最終処分量155,370m³) 集計期間 1月～12月

	本社	RCセンター	砕石工場	合計
従業員数（人）	14	4	16	34
敷地面積（m ² ）	399	21,151	467,886	489,436
床面積（m ² ）	143	—	33,322	33,465

※従業員数は2021年6月1日現在

※一般建設業にかかる実績はありません。

(7) 事業年度 4月～3月

(8) 許可等の内容

- ・産業廃棄物収集運搬業（積替えを含まない）
- ・一般建設業
- ・建設発生土処理（中間処理・最終処分）
- ・産業廃棄物処分業（中間処理）
- ・砕石業（採石認可・林地開発許可）

(9) 産業廃棄物処理業許可内容

収集運搬業（積替を含まない）																
許可行政	許可番号	許可 年月日	有効期限	汚 泥	廃 プ ラ	紙 く ず	木 く ず	織 維 く ず	動 植 物 残 渣	金 属 く ず	ゴ ム く ず	ガ ラ ス く ず	が れ き 類	鉱 さい	燃 え 殻	ば い じ ん
和歌山県	3001135471	2014.11.17	2021.11.16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
大阪府	2700135471	2017.07.09	2024.07.08	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
兵庫県	2800135471	2017.04.27	2024.04.26	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
奈良県	2900135471	2018.02.14	2025.02.13	○	○	○	○	○		○	○	○	○			
福岡県	4000135471	2017.03.22	2022.03.21	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	
処分業（破碎・天日乾燥・造粒固化）																
和歌山県	3021135471	2014.11.17	2021.11.16	破 砕：無機性汚泥・ガラスくず・がれき類・鉱さい 天日乾燥：無機性汚泥 造粒固化：無機性汚泥												
産業廃棄物処理業優良認定																
	取得年月日		許可の種類													
和歌山県	2014.11.17		収集運搬業・処分業													
兵庫県	2017.4.27		収集運搬業													
大阪府	2017.5.30		収集運搬業													
奈良県	2018.2.23		収集運搬業													

(10) 建設発生土処理許可内容

	許可番号	許可年月日	許可の種類
和歌山県	05230018	2018.06.01	最終処分場指定
和歌山県	03050004	2020.07.07	特定事業許可

(11) 保有施設概要

用途	種類	車種	台数
営業車両 (ガソリン車)	軽自動車	乗用車	2
	普通車	乗用車	10

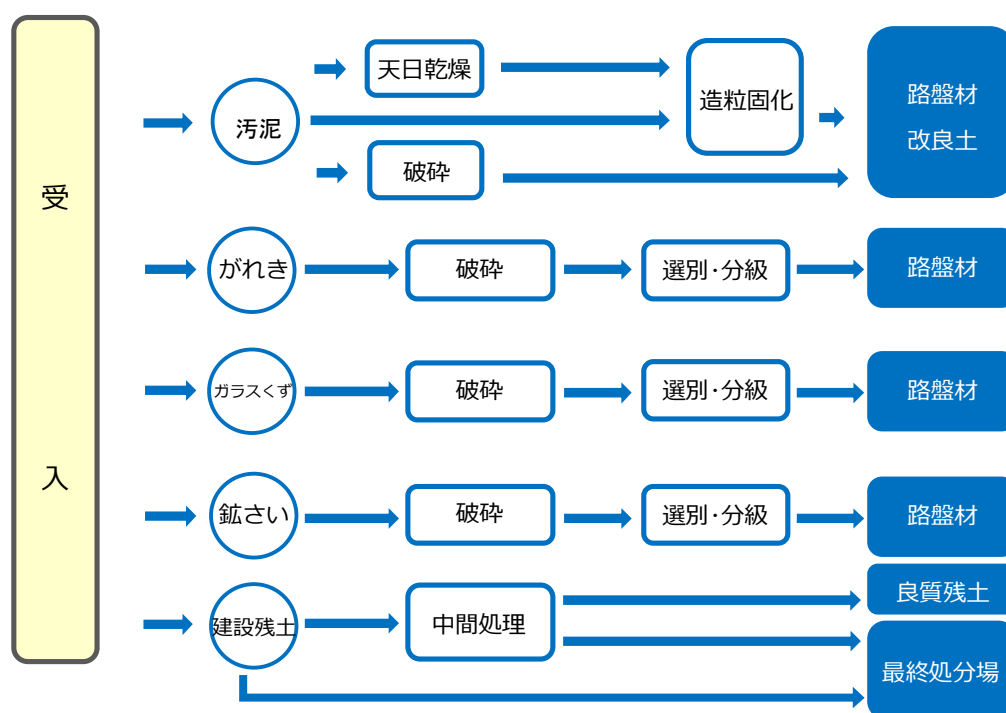
ディーゼル車 (重機)	種類	産廃処理用 (台)	砕石用・処分用 (台)
	ブルドーザー		3
	トラクタ	4	7
	バックホウ	2	3
	ダンプ	43	6
	その他	2	6

種類		設置場所	動力(kW)	処理能力 (t/時)
破 碎 施 設	産廃用	紀の川市神通	95	110
			75	70
	砕石用		150	532
			170	289
			190	226
			190	289
			190	600
			220	226
			220	370

造粒固化施設	紀の川市神通	無機性汚泥：150m³/時
--------	--------	---------------

天日乾燥施設	紀の川市神通	建設汚泥：98m³/日
--------	--------	-------------

(12) 処理工程



2 認証登録の対象組織・活動

(1) 登録組織名

赤井工業 株式会社

(2) 対象事業所

- ①本社
- ②RCセンター：産業廃棄物中間処理（破碎・天日乾燥・造粒固化）
- ③神通碎石工場
- ④建設発生土処分場

(3) 対象事業内容

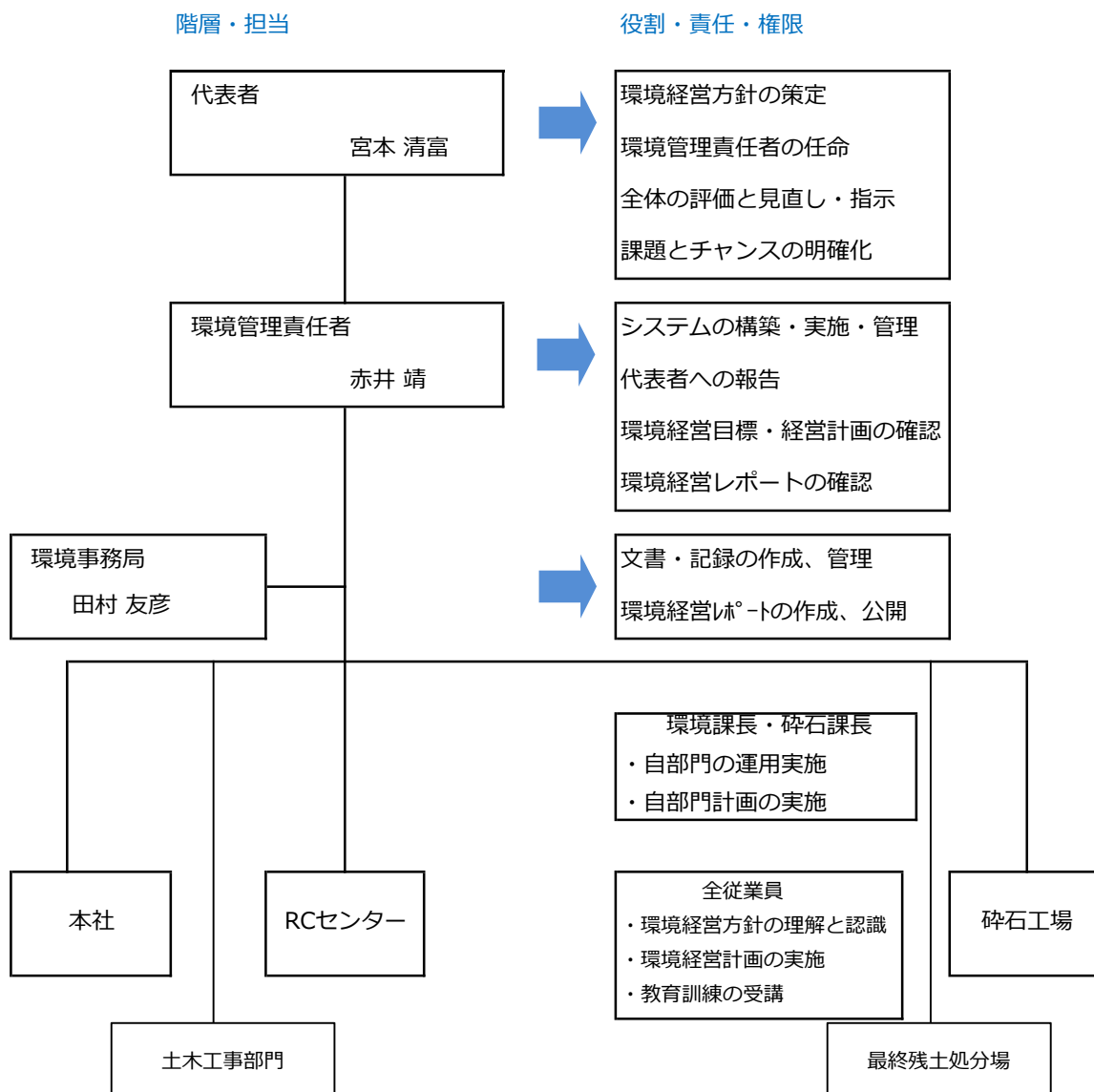
産業廃棄物収集運搬・中間処理（破碎・天日乾燥・造粒固化）

碎石・碎砂・再生骨材・改良土の製造販売

建設発生土中間処理・最終処分

※一般建設業については実績が出次第、対象事業活動に加える。

3 組織図



3 環境経営方針

＜基本理念＞

昭和44年に会社設立以来、当社は「ハイ・クオリティの追及」を原点に、碎石製品の製造から始まり社会の環境へのニーズに対応するため産業廃棄物の収集運搬と中間処理を行ってまいりました。今後の事業展開を進めていく中で、深刻化する地球温暖化や、地下資源の枯渇への対応が人類共通の喫緊の課題との認識にたち、事業活動における環境負荷の低減を図るために、全社一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動に取り組みます。

＜経営行動指針＞

1. 具体的に次のことに取り組みます。

- ①電力の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ②収集運搬車・重機などの燃料消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ③自社が排出する廃棄物と受託産業廃棄物の3 R（発生抑制、再使用、再資源化）の推進
- ④水資源の節約
- ⑤事務用品などのグリーン購入の推進
- ⑥コピー用紙など、資源の削減
- ⑦水生生物の環境保護

これらについて環境経営目標・経営計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規制や地域との協定を遵守します。

3. この環境経営方針を全従業員に周知し、公表します。

制定日：2013年9月1日

改定日：2019年9月1日

赤井工業株式会社

代表取締役 宮本 清富

4 環境経営目標

2012年度実績を基準として、12年で12%削減を目途とした中・長期の目標は次の通りです。

環境経営目標			基準年度（2012年度）		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	
					目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	
二酸化炭素 排出量の 削減	電力使用量 の削減 排出係数 ※欄外参照	本社 ※1	33,616 kWh		1%減	2%減	3%減	4%減	5%減	6%減	7%減	8%減	
			14,858 kg-CO ₂		14,710	14,561	14,413	14,264	14,115	13,967	13,818	13,670	
		工場	1,127,430 kWh		5%減	6%減	7%減	8%減	9%減	10%減	11%減	12%減	
			498,324 kg-CO ₂		473,408	468,425	463,441	458,458	453,475	448,492	443,508	438,525	
		全社 ※4	1,161,046 kWh										
			513,182 kg-CO ₂		488,118	482,986	477,854	472,722	467,590	462,458	457,327	452,195	
	燃料使用量 の削減	全社	ガソリン ※2	21,182 L	1%減	2%減	3%減	4%減	5%減	6%減	7%減	8%減	
				49,141 kg-CO ₂	48,650	48,159	47,667	47,176	46,684	46,193	45,701	45,210	
			軽油	578,103 L	5%減	6%減	7%減	8%減	9%減	10%減	11%減	12%減	
				1,491,506 kg-CO ₂	1,416,930	1,402,015	1,387,100	1,372,185	1,357,270	1,342,355	1,327,440	1,312,525	
CO ₂ 合計	全社 ※4	2,053,829 kg-CO ₂		1,953,698	1,933,160	1,912,621	1,892,083	1,871,545	1,851,006	1,830,468	1,809,930		
廃棄物 排出量 の削減	自社廃棄物 排出抑制	全社 ※3	可燃一廃 排出量 519 kg		4%減	5%減	6%減	7%減	8%減	9%減	10%減	11%減	
	受託産廃 資源化の 推進	RC	中間処理後 最終処分率 5 % 5%以下維持		5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	
用水使用量 の削減	上水使用量 の抑制	本社 ※6	上水使用量 98 m ³		—	—	—	1%減	2%減	3%減	4%減	5%減	
	雨水利用の 導入	本社	雨水使用量 未導入 m ³		無計量	無計量	無計量	無計量	無計量	無計量	無計量	無計量	
環境経営の 推進	グリーン 購入の拡大	本社	Eマーク付き事務用品の 使用率 %		40	40	40	40	40	40	40	40	
	製品及びサ ービスに関 する環境 配慮	本社	協力会社にEマーク啓発 連絡会議で要請 会議		実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	
	コミュニ ケーション と地域貢 献活動	全社	部門間のコミュニケーションの推進		定期的実施	定期的実施	定期的実施	定期的実施	定期的実施	定期的実施	定期的実施	定期的実施	
			清掃活動		週1回	週1回	週1回	週1回	週1回	週1回	週1回	週1回	

※工場：RCセンターと砕石工場・建設残土最終処分場の合計 RC：リサイクルセンター

※電力のCO₂排出係数は、(株)エネットの2019年度数値0.442Kg-CO₂/kWh

ガソリン：2.32kg-CO₂/L 軽油：2.58kg-CO₂/L

※PRTR対象の化学物質の使用はありません。

※グリーン購入の拡大で、エコマーク付き事務用品の品目を毎年1種類増やしていたが購入率に変更

※1 本社電力は従業員が増えたため、2016年度実績を基準とします。

※2 全社ガソリンは営業車・場内車が増えたため、2016年度実績を基準とします。

※3 一般廃棄物は2012年度データがないため、2013年度実績を基準とします。

※4 全社電気使用量・CO₂合計は基準年度が異なるため、目標数値は未記入。

※5 基準年度の軽油と重油を合計しております。産業廃棄物の収集運搬用燃料は庸車のため、計上していません。

※6 本社上水使用量は分岐メーター切替により2019年度実績を基準とします。

5 環境経営目標の実績

対象期間として2020年4月から2021年3月まで取り組んだ実績と数値評価は次のとおりでした。

※電気のCO₂排出係数：0.442kg-CO₂/kWh

全 社

	目標(2020年4月～2021年3月)		実績(2020年4月～2021年3月)			評価
	削減%	目標値	実績値	%	増・減	
電気(kg-CO ₂)	- ※1	472,722	267,813	43.3	減	○
ガソリン(kg-CO ₂)	4	47,176	43,340	8.1	減	○
軽油(kg-CO ₂)	8	1,372,185	1,249,752	8.9	減	○
CO ₂ 計(kg-CO ₂)	- ※1	1,892,083	1,560,905	17.5	減	○
自社排出一般廃棄物(kg)	7	483	385	20.3	減	○
中間処理後最終処分量	%	5.0	0.0	—	—	○
用水使用量(m ³)	1	97	37	61.9	減	○
グリーン購入(購入率)	%	40	57	42.5	増	○

本 社

	目標(2020年4月～2021年3月)		実績(2020年4月～2021年3月)			評価
	削減%	目標値	実績値	%	増・減	
電気(kg-CO ₂)	4	14,264	6,497	54.5	減	○
ガソリン(kg-CO ₂)	4	47,176	43,340	8.1	減	○
CO ₂ 計(kg-CO ₂)	4	61,440	49,837	18.9	減	○
自社排出一般廃棄物(kg)	7	483	385	20.3	減	○
用水使用量(m ³)	1	97	37	61.9	減	○
グリーン購入(購入率)	%	40	57	42.5	増	○

工 場 (RCセンター・砕石工場)

	目標(2020年4月～2021年3月)		実績(2020年4月～2021年3月)			評価
	削減%	目標値	実績値	%	増・減	
電気(kg-CO ₂)	8	458,458	261,316	43.0	減	○
軽油(kg-CO ₂)	8	1,372,185	1,249,752	8.9	減	○
CO ₂ 計(kg-CO ₂)	- ※1	1,830,643	1,511,068	17.5	減	○
中間処理後最終処分量	%	5.0	0.0	0.0	—	○

※ 工場のガソリンは僅少のため、本社に加算しています。

※ 全社電気使用量・CO₂の合計、工場CO₂の合計は基準年度が異なるため一律での削減数値を記入していません。

昨年度までに二酸化炭素削減対策として実施した設備等は次の通りで、CO₂削減に寄与できています。

- ・照明のLED化
- ・工場にデマンド監視システムの導入
- ・営業車のハイブリッド車に更新
- ・重機の4次規制適合車への更新（1台）

6 環境経営計画の内容と取組結果

環境経営方針と環境経営目標達成のための経営計画は次の通りでサイト毎に取り組んでいます。
なお、サイトごとの取組結果は下記のとおりです。

評価は次の5段階で実施しました。

5：100%実施できた 4：75%程度実施できた 3：実施できたのは50%程度であった

2：25%程度しか実施できなかった 1：実施できなかった

(1) 二酸化炭素排出量の削減

		本社		RCセンター		砕石工場	
		取組項目	評価結果	取組項目	評価結果	取組項目	評価結果
電力	① プラントの節電管理の徹底	—	—	○	5	○	5
	② 運転停止時の電源OFF	—	—	○	5	○	5
	③ エアコン温度管理の徹底	○	5	○	5	○	5
	④ 事務機・照明等の節電	○	5	—	—	—	—
燃料	⑤ 重機の経済的運転	—	—	○	5	○	5
	⑥ 重機のメンテの徹底	—	—	○	5	○	5
	⑦ IoTドライブの徹底	○	5	○	5	○	5
	⑧ 場内運搬の効率化	—	—	○	4	○	4

(2) 廃棄物排出量の削減

一廃	① 社内廃棄物の分別徹底	○	5	—	—	—	—
産廃	② 中間処理後最終処分量の抑制	—	—	○	5	—	—

(3) 用水使用量の削減

上水	① 散水・洗車節水の徹底	○	5	○	5	○	5
	② 手洗い時の節水の徹底	○	5	○	5	○	5
	③ 漏水点検の徹底	○	5	—	—	—	—

(4) グリーン購入の拡大

①	マーク付事務用品の選択的使用	○	5	—	—	—	—
---	----------------	---	---	---	---	---	---

(5) 環境配慮活動

①	協力会社へのIoTドライブ啓発	○	5	○	5	○	5
②	部門間のコミュニケーションの推進	○	5	○	5	○	5
③	周辺道路の清掃	○	5	○	5	○	5

7 環境経営計画の今後の方針及び次年度を取組内容

環境経営計画の今後の方針と次年度における取組項目については、次のとおりです。

(1) 二酸化炭素排出量の削減

活動計画	今後の方針	次年度取組
①プラントの節電管理の徹底	急激な負荷運転を防止する	○
②運転停止時の電源OFF	機械類の停止後の速やかなOFFを徹底する	○
③エアコン温度管理の徹底	夏28度冬20度を目標とする	○
④事務機・照明等の節電	不要な照明の消灯を徹底する	○
⑤重機の経済的運転	過負荷運転をしない	○
⑥重機のメンテの徹底	定期的に整備する	○
⑦エコドライブの徹底	急発進、急加速をしない	○
⑧場内運搬の効率化	空荷運転を避ける	○

(2) 廃棄物排出量の削減

①社内廃棄物の分別徹底	分別BOXに入れる	○
②中間処理後最終処分量の抑制	造粒固化率を維持する	○

(3) 用水使用量の削減

①散水・洗車節水の徹底	特に洗車用水の節水を徹底する	○
②手洗い時の節水の徹底	常に節水を意識し実施する	○
③漏水点検の徹底	月に一回メーターの確認を実施する	○

(4) グリーン購入の拡大

①Eマーク付事務用品の選択的使用	Eco消耗品の利用拡大を図る	○
------------------	----------------	---

(5) 環境配慮活動

①協力会社へのEドライブ啓発	協力要請を定期的に行う	○
②部門間のコミュニケーションの推進	こまめに情報交換を行う	○
③周辺道路の清掃	定期的に清掃を行う	○

8 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 当社に関する環境関連法令と遵守状況は次のとおりです。

No	法律・条例・その他 名称	規制・規定の内容	当社対応状況	遵守状況
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 岩出市廃棄物の処理及び清掃に関する条例（一般廃棄物）	1. 産業廃棄物処理業の許可 運搬車の表示及び書類の携帯	許可証	遵守
		2. 産廃処理施設設置許可 構造・維持管理基準	点検記録	
		産廃処理施設技術管理者設置	選任届出書	
		帳簿の記載	帳簿	
		3. 産業廃棄物の受託・委託基準 委託契約（2者契約、許可証写）	— 契約書	
		マニフェスト交付、未回収時報告	マニフェスト綴り	
		4. 事業系一般廃棄物	市町村処理	
2	採石法	採石認可	許可証	遵守
3	森林法	林地開発許可	許可証	遵守
4	大気汚染防止法 和歌山県公害防止条例	一般粉じん発生施設届出書	設置届出書	遵守
		特定施設設置届		
5	水質汚濁防止法	特定施設設置届	該当施設なし	遵守
6	騒音規制法 和歌山県公害防止条例	1. 特定施設 7. 5kW以上（空気圧縮機・破碎施設）	設置届出書（空気圧縮機は、移動式の為不要）	遵守
7	振動規制法 和歌山県公害防止条例	1. 特定施設 7. 5kW以上（空気圧縮機・破碎施設）	設置届出書（空気圧縮機は、移動式の為不要）	遵守
8	家電リサイクル法	1. リサイクルへの協力（家電4品目）	廃棄時	遵守
9	小型家電リサイクル法	1. リサイクルへの協力（ノートパソコン等）	廃棄時	遵守
10	建設リサイクル法	1. 発注者の着工7日前の届出	必要な届出	遵守
11	自動車リサイクル法	1. リサイクルへの協力（新車購入時）	更新時	遵守
12	フロン排出抑制法	1. 業務用エアコン廃棄時の措置 2. 業務用エアコン等の簡易点検・記録	廃棄時又は点検	遵守
13	自動車NOx、PM法	1. 対象地域 大阪府流入規制	車検証	遵守
	大阪府生活環境保全条例	2. 排出基準 H17年規制適合車		
		3. 車検証		
14	消防法	2. 消防用設備点検（機器点検・総合点検）	消火器	遵守
15	火災予防条例	1. 少量危険物 指定数量の1/5以上	保管維持管理	遵守
		2. 指定可燃物 木くず1000kg以上		
16	オフロード法	法第4条 使用者の責務 ・ 法第17条 使用制限	適合車購入	遵守
17	産業廃棄物の保管及び土砂等の不適正な処理防止に関する条例	特定事業場許可	許可証	遵守
		特定事業場区域内の浸透水を採集するための措置（調整池）	定期検査	遵守

※なお、当社は省エネ法対象規模未満（原油換算1500kL未満）です。

(2) 当社に関する環境関連法令の遵守状況を確認した結果は、違反はなく、関係当局からの違反等の指摘は過去3年間ありません。また、訴訟等もありません。

9 代表者による全体評価と見直し・指示

(1) 全体評価

年間でCO₂の目標値は達成している。これは社員が一丸となって取り組んだ結果と考える。今後も計画通り実施すること。今年度は全項目において概ね目標を達成した。取り組みについては、社員の意識も定着し、それぞれが役割分担を果たしている結果、概ね良好と考えられる。

(2) 見直し・指示について

本社（電気使用量）については電気メーターの分岐工事（集合メーター➡独立メーター）が3月に完了したため今期からは単独集計とした。

なお、本社（電気使用量）については基準年度を変更し進めていくこととする。

その他、目標値や経営計画は当面現在の内容で継続することとする。

(3) 今後の展望

年間でCO₂の目標値は達成したが売上は横ばい傾向である。増収増益の目標に向け全社的に新たな取り組みや新しい事業展開を進めていく時期である。それと同時に潜在的な余剰コストを明確にし、再投資していくことや、一層の経費削減に向けて、今迄以上のエコアクションへの取り組み及び計画に対して実績を残し、従業員各々が業務の中においても環境への意識を高く持つことが必要不可欠である。そして目標に向けて活動することにより、社員各々の職務分掌も全うできることを期待します。

リサイクル製品（和歌山県リサイクル製品）

RC-40・30



主にコンクリートガラなどを破砕し、粒度調整した
再生クラッシャーラン

第23-14・第23-15

認定年月日 2016.12.28

RM-40・30



コンクリートガラとAソイルを最速比率で混合した
再生粒度調整砕石

第23-3号・第24-2号

認定年月日 2018.01.25

再生砂



主にコンクリートガラなどを10mmアンダーに破砕し、
粒度調整した再生砂

第23-16

認定年月日 2016.12.28

Aソイル



建設汚泥や無機性汚泥を造粒固化した
第2種以上の改良土

第24-1号

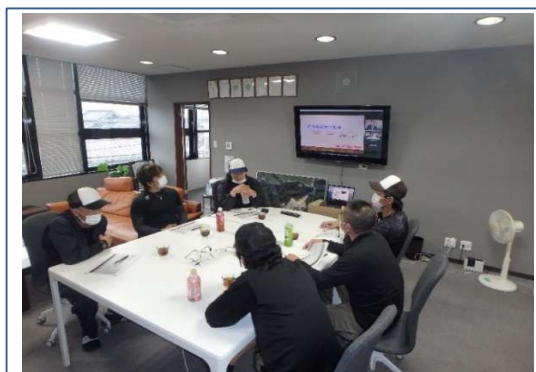
認定年月日 2018.01.25

10 環境経営状況（教育及び外部コミュニケーション）

■安全衛生推進会議



■環境教育



■工場付近・定期清掃



■2020年度クリーンアップ運動



■緊急事態発生・訓練



■紀の川市との合同清掃（中畑地区）

